

リモコンエンジンスターター



エンスタ・エルⅣ

取付・取扱説明書

(保証書付)

 **警告** お取り付けには専門知識が必要です。

お取り付けは、販売店、又はカーディーラー等の専門店にご依頼下さい。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。又、本機を取り付けた事による、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

 **警告** 本商品は、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。分解したり改造したりする事は法律で禁じられていますので、絶対に行わないで下さい。リモコンケースの裏面に貼られている**技術基準適合証明ラベル**は、はがさないで下さい。このラベルがはがれた状態で使用すると**電波法違反**となります。

 **注意** このエンジンスターターは、お取り付け時に**初期設定(オートマチック車の登録等)**^{*}を行わないとエンジンを始動する事が出来ません。又、バッテリー交換や整備等によりバッテリー端子を外すと、初期設定は消去されますので、再度設定する必要があります。詳しくは、本冊子8、9ページを参照願います。 ※キー始動学習設定やターボタイマー設定情報も同様に消去されます。

■はじめに	3ページ
■ご使用上の注意	4ページ
■パッケージ内容	5ページ
■お取り付け出来る車は	6ページ
■お取り付けの前に	6ページ
■車種別専用ハーネスと本体の取り付け	7ページ
■オートマチック車の登録	8-9ページ
■動作確認を行います	10ページ
■L端子検出へ変更	11ページ
■Pポジション検出へ変更	12ページ
■ドアスイッチ配線を行う場合	13ページ
■ボンネットスイッチを取り付ける場合	13ページ
■ドアタイマー機能の設定	14ページ
■本体、室内アンテナの固定	15ページ
■ご使用上の注意	16ページ
■ご使用方法	17ページ
■グロー時間の切替	18ページ
■キー始動学習機能	19ページ
■アイドリング時間の設定	20ページ

■本体動作の停止・復帰	21ページ
■ターボタイマーの設定・解除	22ページ
■ターボタイマーの使用方法	23ページ
■スリープ機能について	23ページ
■メンテナンス	24ページ
■故障とお考えになる前に	25ページ
■本体ブザー音一覧表	26ページ
■別売りアダプター	26ページ
■仕様	27ページ
保証規定	27ページ
■アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

この取付・取扱説明書では安全上重要な項目に下記のマークを表示しています。

 **危険** …… 死亡を含む**重大事故**の原因と成り得る事を意味する。

 **警告** …… 死亡を含む**重大事故**に至る可能性がある事を意味する。
又、法律に違反する事を意味する。

 **注意** …… **人身事故**の原因と成り得る事を意味する。
又、車や商品の損傷、故障等の原因と成り得る事を意味する。

●はじめに

このたびは、本商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用になる前に、本冊子を必ずお読み頂き、正しくご使用下さい。又、お読みになった後も本冊子は**車検証入れ等に保管**して下さい。そして、本商品を譲渡される場合や別のお車に取り付け直す場合も、本冊子を必ず商品に付帯させ、お使いになる方がいつでも見られる様にして下さい。又、コーションラベルも販売店から購入して下さい。本商品は日本国内でのみご使用出来ます。

⚠ 注意 リモコン取り扱い上のお願い

- ・リモコンに雨や水等がかからないようにご注意ください。尚、水の中に落とすと内部に水が入り、故障の原因となります。これら水濡れによる故障は保証対象外となります。水に濡れた場合は電池ブタを外し電池を抜いて、風通しの良い所で乾かす等、完全に乾いてからご使用下さい。
- ・リモコンを多くの物が詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケット等に入れて無理な力をかけないで下さい。内部基板等の破損/故障の原因となります。
- ・リモコンをエアコンの吹き出し口等急激な温度変化のある場所に置かないで下さい。又、風呂場など湿気の多い場所での使用はおやめ下さい。結露により内部が腐食し故障の原因となります。

⚠ 注意 アイドリング中の車両電装品のスイッチ操作について

リモコンエンジンスターターをご利用になる際は、エアコン(ヒーター)以外の電装品(ワイパー、シートヒーター、熱線等)のスイッチは事前に切ってご利用下さい。車種によってはアイドリング中の電流過多により、リモコンエンジンスターターのヒューズが切れる場合があります。

⚠ 注意 駐車について

お車を駐車する際は必ずシフトレバーをPポジション(レンジ)に入れてご使用下さい。リモコンでエンジンを始動して走行を行い、その後キーでエンジンを止めた場合、一部のお車ではキーがPポジション以外の位置でも抜ける場合があります。これはお車の仕様によるもので異常ではありません。駐車する際は、必ずPポジションの位置を確認して(Pブレーキをかけて)キーを抜いて下さい。尚、ドア配線等を行い乗車前に一旦エンジンを止め、キーで再始動すればPポジション以外で抜ける事はありません。

⚠ 注意 VSA装着車について

ホンダのVSA[※] 装着車(CR-V及びアコード、トルネオ等)の一部に、リモコン始動後VSAの表示が消灯しない場合があります。これは、お車のVSA表示システムとエンジンスターターの動作タイミングが異なる為で異常ではありません。走行前に一旦エンジンを止めて再度キーにてエンジン始動を行って下さい。尚、ドアスイッチへの配線を行う事で、ドアを開けると同時にエンジンを停止させる事も出来ます。

注:VSA(ピークル スタビリティ アシスト):ブレーキ時の車輪ロックを防ぐABSと、加速時の車輪空転を防ぐTCSに、旋回時の横すべり抑制を加えた、車両挙動安定化制御システム

⚠ 注意 環境へのご配慮について

地球環境保全の為、暖機運転の時間は必要最小限に設定して下さい。又、不必要な暖機運転は行わないようにして下さい。暖機運転により発生する、二酸化炭素は地球温暖化、排気ガスは大気汚染の原因になります。

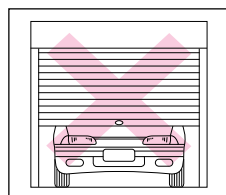
・暖機運転設定時間の目安

車両計器盤の水温計が所定の位置まで上がれば十分です。ご使用の車種、季節などを考慮し、適切な時間で設定して下さい。

・アイドリングの影響

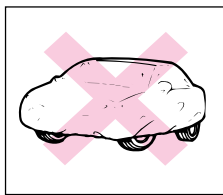
一般的な乗用車で、10分間のアイドリングにより約0.14リットルのガソリンを消費し、それにより、約90グラムの二酸化炭素が発生するといわれています。

●ご使用上の注意



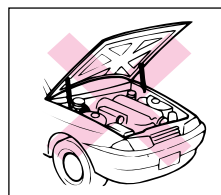
⚠ 危険

密閉されたガレージ内ではご使用にならないで下さい。
(排気ガスが充満して危険です。)



⚠ 危険

お車にボディーカバー等を掛けたままでご使用にならないで下さい。
(火災の恐れがあります。)



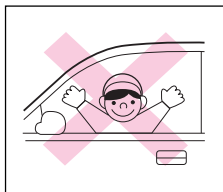
⚠ 危険

ボンネットを開ける時は、リモコンの電池を抜いて下さい。又は別売のボンネットスイッチを取り付けて下さい。
(事故の恐れがあります。)



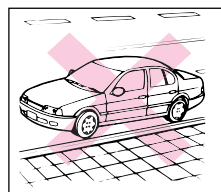
⚠ 危険

リモコンでエンジンを始動する時は、車の近くに可燃物が無い事を確認してからご使用下さい。
(火災の恐れがあります。)



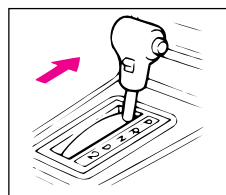
⚠ 危険

人(特にお子様)やペットが車室内にいる時は、絶対にエンジンを始動しないで下さい。(お子様による車両の操作やペットの思わぬ動きが重大事故につながる恐れがあります。)



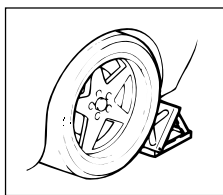
⚠ 警告

公道上ではご使用にならないで下さい。必ず駐車場、又は私有地内でご使用下さい。
(公道上での使用は違法となります。)



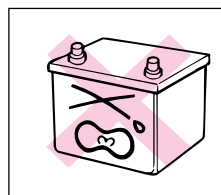
⚠ 注意

シフトレバーは必ずPレンジに入れて駐車して下さい。(リモコンでエンジン始動を行った場合には、Pレンジ以外でもキーが抜ける事があります。)パーキングブレーキは必ずかけて下さい。



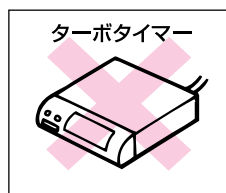
⚠ 注意

斜面で使用される場合は、必ず輪止めをして下さい。



⚠ 注意

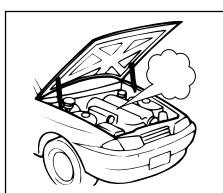
バッテリーの弱っているお車や改造車では、正常にエンジン始動出来ない場合があります。



ターボタイマー

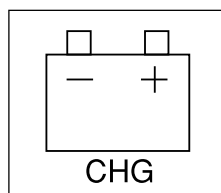
⚠ 注意

他社製エンジンスターターやターボタイマーとの併用は、絶対にしないで下さい。(故障や誤動作の原因となります。)



⚠ 注意

暖気運転を行った直後に運行前点検を行うと火傷をする恐れがあります。エンジンを停止後、火傷の恐れが無い事を確認してから運行前点検を行って下さい。



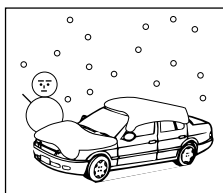
⚠ 注意

キーでエンジンを始動した後に車両の充電警告灯が消えない場合には、エンジンスターターを使用せずに車両の点検整備をして下さい。



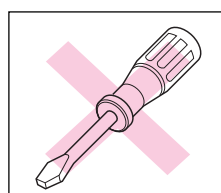
⚠ 注意

環境保護のため必要以上のアイドリングは、行わないで下さい。



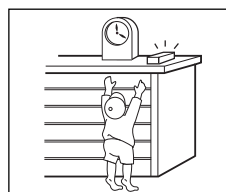
⚠ 注意

寒冷地ではエンジンがかかりにくい事があります。キー操作のみで3秒以内にエンジンが始動するように車両を整備して下さい。



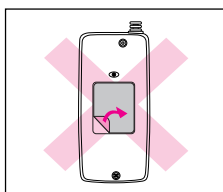
⚠ 注意

リモコン及び本体の内部に物を入れないで下さい。(故障の原因となります。)又、分解・改造はしないで下さい。(保証出来ません。)



⚠ 危険

リモコンは、お客様の手の届く所には、置かないで下さい。
(事故の恐れがあります。)



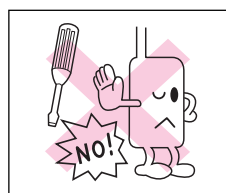
⚠ 警告

認証ラベルを剥がしたり、ラベルの無いものを使用する事は法律で禁じられています。
(絶対にしないで下さい。)



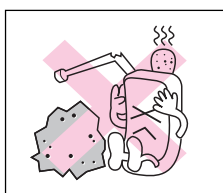
⚠ 注意

リモコン及び本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよくしぼってからふき、乾いた布でもう一度ふいて下さい。ベンジン、シンナー等は絶対にご使用にならないで下さい。(変形、変色や故障の原因となります。)



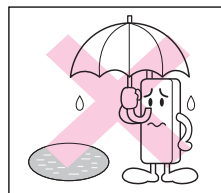
⚠ 警告

この商品は特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解・改造する事は法律で禁じられています。
(絶対にしないで下さい。)



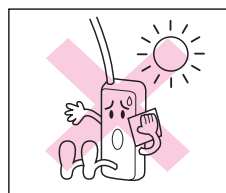
⚠ 注意

リモコンを落としたり、硬いものにぶつけないで下さい。
(故障の原因となります。)



⚠ 注意

リモコン及び本体は水に濡らさないで下さい。
(故障の原因となります。)

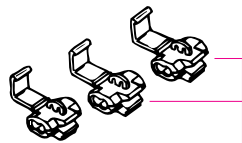


⚠ 注意

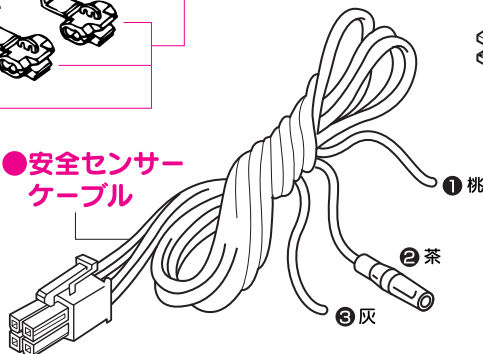
リモコンは、高温になる場所には放置しないで下さい。
(変形、変色や故障の原因となります。)

●パッケージ内容

●エレクトロタップ

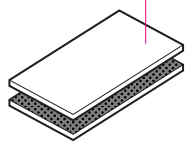


●安全センサーケーブル

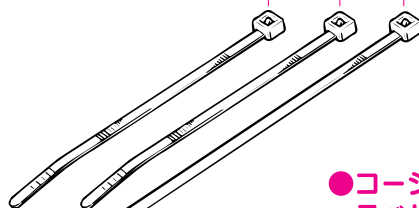


- ① 桃色線 (必要な場合にPポジションに接続)
- ② 茶色線 (必要な場合にボンネットSW(オプション)/ドアSWに接続)
- ③ 灰色線 (必要な場合にL端子へ接続)

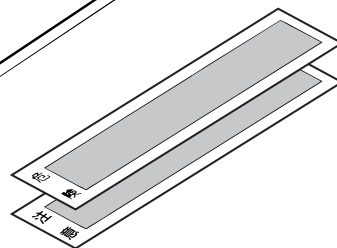
●マジックテープ (室内アンテナ固定用)



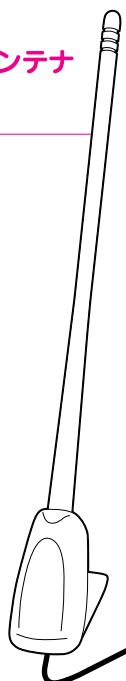
●結束バンド



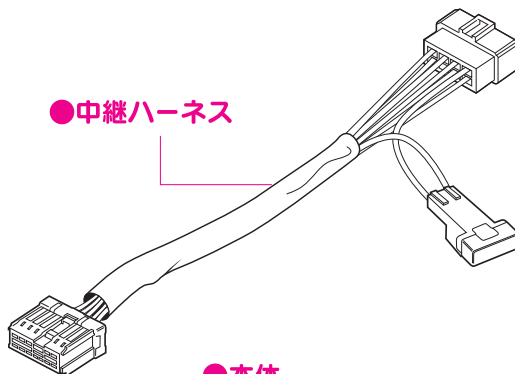
●コーションラベル



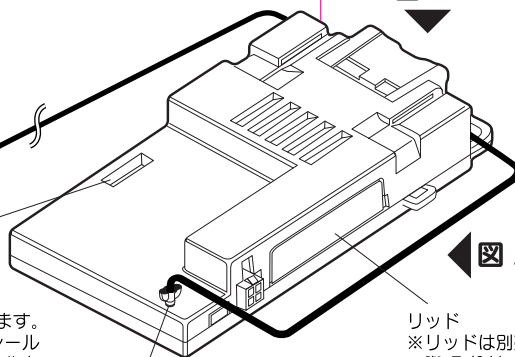
●室内アンテナ



●中継ハーネス



●本体



●CN6/別売りイモビアダプタ接続ポート

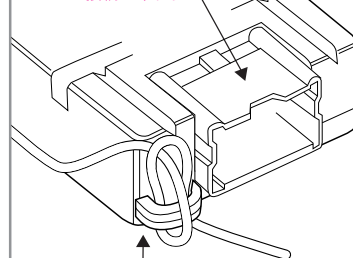
このポートはシールが貼ってあります。イモビアダプタ取り付けの際、シールを剥がして下さい。それ以外はシールを剥がさないで下さい。

アンテナ接続コネクタ

図 B

図 A

図 B CN1/中継ハーネス 又は専用ハーネス 接続コネクタ



●抜け防止ガイド

■本体に接続した室内アンテナのケーブルを抜け防止ガイドに巻き付けます。

●リモコン



アンテナ

リッド
※リッドは別売オプション品取付の際、取り外す場合があります。それ以外は絶対に外さないで下さい。尚、リッドは両面テープで固定されています。

STARTスイッチ

SETスイッチ

STOPスイッチ

RESETスイッチ

リング

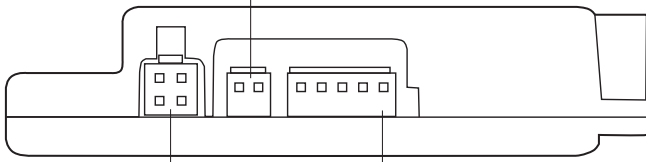
■リモコンに車のキー等を取り付ける際には、必ず本リングをご使用下さい。

図 A

CN4/別売りアダプタ接続ポート(2)

CN3/別売りアダプタ接続ポート(1)

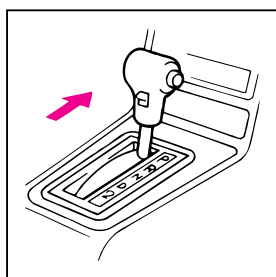
CN2/安全センサーケーブル接続コネクタ



●お取り付け出来る車は…

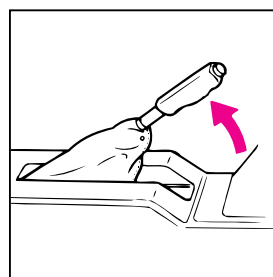
- 本製品は国産車専用です。外国車へのお取り付けは出来ません。
- 本製品はオートマチック車専用です。マニュアルミッション車へのお取り付けは出来ません。
- 本製品は12V車専用です。24V車へのお取り付けは出来ません。
- 本製品は電子制御燃料噴射装置搭載車、及び一部のディーゼル車で、イグニッションキーのみでエンジンを始動する事が出来るお車のみ、取り付け可能です。エンジン始動時にアクセル操作やチョークレバー操作を必要とするお車、電子制御キャブレター搭載車へのお取り付けは出来ません。
- ご購入前に最新の弊社「車種別専用ハーネス適応表」をご覧の上、お車への取り付け適応及び専用ハーネス品番をご確認下さい。他社製エンジンスターター、もしくはターボタイマーが取り付けてあるお車には取り付け出来ません。(併用するとそれぞれが正しく動作しない恐れがあります。)
- 公道での使用は、違法となりますのでおやめ下さい。

●お取り付けの前に



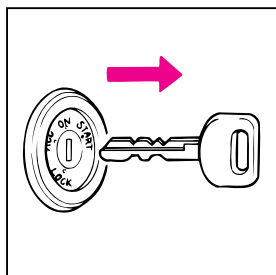
⚠ 危険

シフトレバーは必ずPレンジに入れて下さい。



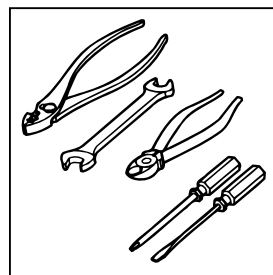
⚠ 危険

パーキングブレーキは確実にかけて下さい。



⚠ 注意

お車のキーは必ず抜いて下さい。



●取り付け工具について
この商品を取り付ける際に必要な工具は一般的には次の通りです。
プラスドライバー、プライヤー、ニッパー、スパナ等
尚、工具は別途ご用意下さい。

⚠ 警告

車種別専用ハーネス適応表をよくご覧になり、お車に合った当社製専用ハーネスをご使用下さい。

●他社製のハーネスは使用しないで下さい。

他社製エンジンスターター、もしくはターボタイマー用ハーネスを流用・加工しての取り付けは絶対にしないで下さい。車両故障、商品故障の恐れがあります。又、保証対象外になります。

⚠ 警告

●お取り付けには専門知識が必要です。

お取り付けは、販売店、又はカーディーラー等の専門店にご依頼下さい。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。又、本機を取り付けた事による、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

●車種別専用ハーネスと本体の取り付け

⚠ 注意

カプラーの接続は振動等で外れないように、最後まで確実に差し込んで下さい。

⚠ 警告

専用ハーネスが車両可動部に挟み込まれると、運転に支障をきたしたり、ショートによる車両故障や車両火災を起こす可能性があります。

⚠ 注意

塗装されている金属部分や、車の振動等で緩んでしまう場所に取り付けると、本体がうまく動作しない事があります。

STEP-1

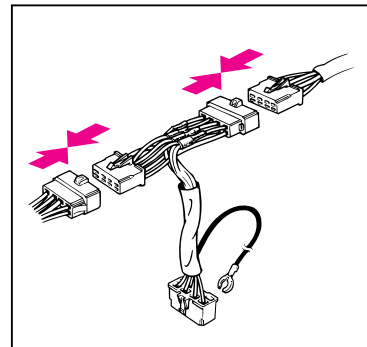
●キースイッチの配線カプラーを探します。

詳しくは、最新の弊社「[車種別専用ハーネス適応表](#)」をご参照下さい。
ハーネスに付属の資料がある場合はそれをご覧下さい。

STEP-2

●専用ハーネスを接続します。

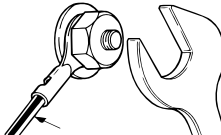
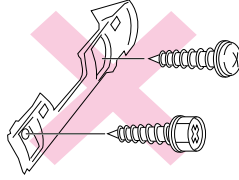
見つけたキースイッチの配線カプラーを、いったん外します。
車種別専用ハーネスを、外したカプラーの間に割り込ませます。
割り込ませた専用ハーネスの配線が車両の可動部(チルトステアリングなど)に挟み込まれると大変危険です。必ず、付属の結束バンド等を利用して挟み込まれないように固定して下さい。



STEP-3

●アース線を接続します。

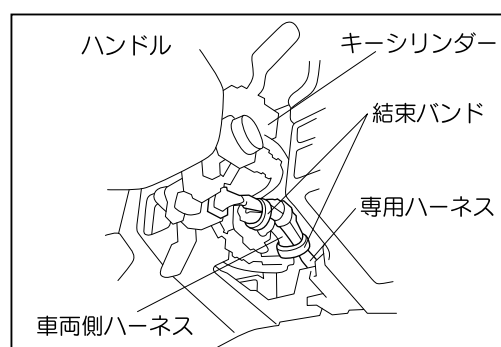
車種別専用ハーネスから出ている黒色アース線を、車体の金属部分に確実に締め付けます。アース線接続が不完全な場合、動作が不安定となり、オートマチック車の登録情報が消去されたり、エンジン始動しない等の不具合が生じます。接続箇所を十分確認の上、適正な場所に接続して下さい。

取り付けに適している場所(ナット)	取り付けに適していない場所(ネジ)
●純正車両電装品のアースポイントに使用されているナット。 ●車体金属部分に止められた非塗装で大きめのナット。  黒色アース線	●アンダーダッシュやセンターコンソール等、樹脂を止めているネジ。 ●メッキや塗装により、電導率の低下した金属部分に止められたネジ。 

STEP-4

●専用ハーネスを固定します。

専用ハーネス(又は専用ハーネス+中継ハーネス)はカプラーの端子に無理な力が掛からない様に配置して、振動等で動かない様に結束バンド等を用いて固定して下さい。



STEP-5

●本体を接続します。

専用ハーネス(又は専用ハーネス+中継ハーネス)を本体に接続します。

●オートマチック車の登録

⚠ 注意

この時(STEP-2)、エンジンは始動させないで下さい。

⚠ 注意

シフト操作は、ブレーキを踏んでゆっくり操作して下さい。

⚠ 注意

断続音が変化した事を必ず確認して下さい。

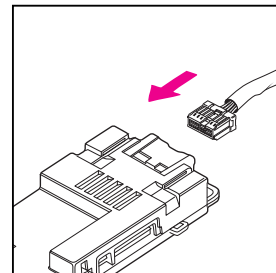


断続音が変化しない場合は、一旦作業を中断し、専用ハーネスの全ての配線が接続されているかを確認して下さい。尚、追加配線の後にはSTEP-1からやり直して下さい。

STEP-1

●専用ハーネス及び中継ハーネスを本体に接続します。

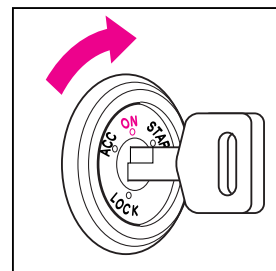
この時本体から、プープーッ プープーッ…と断続音がします。断続音がしない場合は、アースが確実にとれているか、又ハーネスの品番が正しいか確認して下さい。



STEP-2

●キーをさし込み、ONの位置にします。

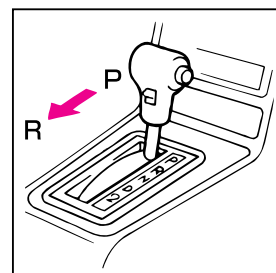
この時本体からでる断続音が、ププッ ププッ ププッ…へと変化する事を確認します。



STEP-3

●シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かします。

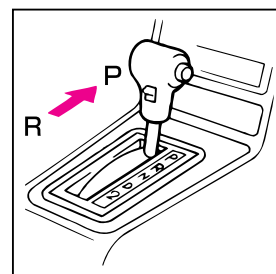
本体からでる断続音が、プププッ プププッ プププッ…へと変化する事を確認します。



STEP-4

●シフトレバーをRレンジからPレンジへと戻します。

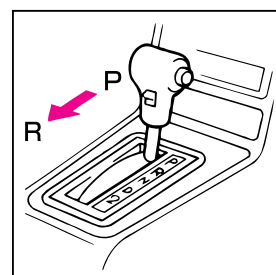
この時本体からでる断続音が、プププッ プーと鳴り、ププッ ププッ ププッ…へと変化する事を確認します。



STEP-5

●再度シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かします。

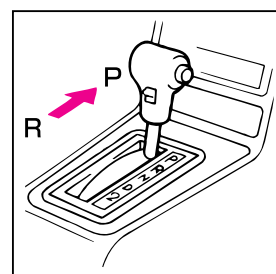
本体からでる断続音が、プププッ プププッ プププッ…へと変化する事を確認します。



STEP-6

●シフトレバーをRレンジからPレンジへと戻します。

この時本体からでる断続音が、プププッ プーと鳴り、ププッ ププッ ププッ…へと変化する事を確認します。



●オートマチック車の登録

⚠ 注意

セルモーター駆動後も受付音(ブブブブー)がせず、断続音(ブーッ ブーッ)が継続されている場合には、一旦エンジンを停止して、再度キー操作でエンジンを始動して下さい。

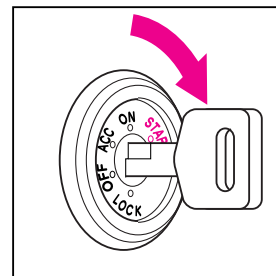
⚠ 注意

キー操作でエンジン始動する(STEP-7の)前にオートマチック車の登録が終了(断続音が停止)してしまった場合、一旦ハーネスから本体を外し、数10秒経過後再度本体をハーネスに接続した後、STEP-1からオートマチック車登録をやり直してください。STEP-7の操作は必ず必要です。

STEP-7

●キー操作でエンジンを始動します。

この時本体から出る断続音がブブブッ プーと鳴り、オートマチック車の登録が終わった事を知らせます。

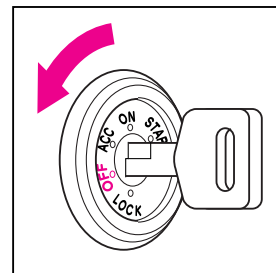


STEP-8

●キーをOFFの位置に戻し、抜き取ります。



以上でオートマチック車の登録は終了です。



- 断続音が変わらない場合は、一旦作業を中断し、専用ハーネスの全ての配線が接続されているかを確認して下さい。尚、確認の後はSTEP-1からやり直して下さい。



- 断続音が鳴り始めてから3分以内にSTEP-8まで完了して下さい。断続音が止まってしまった場合はリモコンでSTOPを送信し、STEP-1からやり直して下さい。

⚠ 注意

- 走行距離が多い車両はまれにオートマチック登録が出来ない車があります。その場合は12ページの「Pポジション検出へ変更」が必要です。また、その他のオートマチック車の登録が出来ない車両も「Pポジション検出へ変更」を行って下さい。

⚠ 注意

- 車両のバッテリー端子を外したり、専用ハーネスやアース線を外すとオートマチック車の登録情報が消去されます。この場合は再度オートマチック車の登録を行って下さい。

●動作確認を行います

危険

安全の為、**パーキングブレーキ**をしっかりとかけ下さい。重大事故につながる恐れがあります。

注意

キーはACCの位置でシフトレバーを動かして下さい。尚、キーを**ON**の位置まで廻してシフトレバーを動かしても**エンジン**は止まりません。

注意

低温時でエンジンが冷えている時2、3回目のリトライでエンジンが始動する事があります。
夏季の高速走行後でエアコンのスイッチを最大にしている時2、3回目のリトライでエンジンが始動する事があります。それらを回避するには「**L端子検出へ変更**」が必要です。

注意

右に記載している症状は、取付時に発生しなくても、数日～数年後に発生する場合があります。症状が発見された時点で処置して下さい。

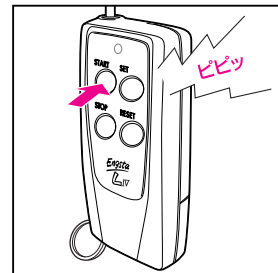
注意

お車の中には（特に走行距離が多い場合）シフト内部のスイッチの摩耗によりシフトが正常に検出出来ない場合があります。その場合はPポジションの配線をしてオートマチック車の登録をやり直して下さい。

STEP-1

●リモコンのスタート送信を行います。

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出して、**START**スイッチを送信音（**ビピッ**）が鳴るまで押します。



STEP-2

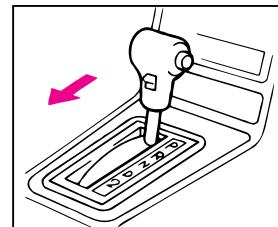
●お車のエンジンが始動します。

本体が信号を受信すると、まずメーターパネルが点灯します。そして数秒後にセルモーターが回りエンジンが始動します。一度で始動しない場合は、自動的に再始動（**リトライ**）し、最大**3回**のセル駆動を行います。エンジン始動後は、本体から警告音（**ブッ**）が数秒間隔で鳴り始め、アイドルリングの残り時間に応じて間隔が短くなり、連続音へと変わります。

STEP-3

●シフトセンサーの確認をします。

リモコンでエンジンを始動させた後、キーを差し込みACCの位置にしてフットブレーキをしっかりと踏みながら、シフトレバーをゆっくりとPレンジからRレンジへと動かします。この時**エンジン**が止まる事を確認します。



■動作確認上の不具合に於ける症状別Q&A

症状

Q. エンジンは始動しているのに、**数秒で停止**してしまい、自動的に再始動（**リトライ**）が行われてしまう場合は…。

L端子検出へ変更

A. エンジンの自動始動検出が、うまく行われていないと考えられます。詳しくは、11ページの「**L端子検出へ変更**」を参照して下さい。

症状

Q. 一部のディーゼル車等で、寒冷時に始動がうまく行われない場合は…。

始動パターン切替

A. グロー（予熱）時間がたりない事が考えられます。詳しくは、18ページの「**グロー時間の切替**」を参照して下さい。

症状

Q. セルモーターの駆動時間が短い為に、1回目のセル駆動でエンジンがかからず、リトライしてしまう場合は…。

セル時間延長

A. セルモーターの駆動時間を学習させる事が出来ます。詳しくは、19ページの「**キー始動学習機能**」を参照して下さい。

症状

Q. リモコンでエンジン始動後、シフトレバーをPレンジから**Rレンジ**へと動かしてもエンジンが停止しない場合、又数秒で動作を停止し、再始動を行わない場合は…。

Pポジション検出

A. オートマチックシフトの検出がうまく行われていないと考えられます。詳しくは、12ページの「**Pポジション検出へ変更**」を参照して下さい。

OK

以上で動作確認は終了です。

●L端子検出へ変更

⚠ 注意

ディーゼル車は必ずL端子検出へ変更して下さい。



車両によって車室内からL端子線を接続出来るお車もあります。詳しくは技術サービスまでお問い合わせ下さい。

⚠ 注意

接触不良がおきない様に確実に取り付けて下さい。取付後、絶縁テープでエレクトロタップをテーピングして下さい。

⚠ 注意

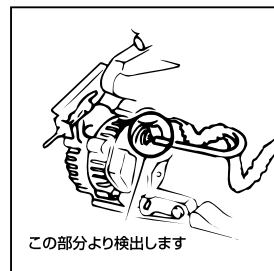
灰色線がボディの金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因になる恐れがあります。

- エンジンは始動しているのに数秒で停止してしまい、自動的に再始動(リトライ)が行われてしまう場合、L端子検出へ変更する事で、エンジン始動をより確実にを行う事が出来ます。
(動作確認後、必要な場合のみ変更して下さい。)

STEP-1

- 車両のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

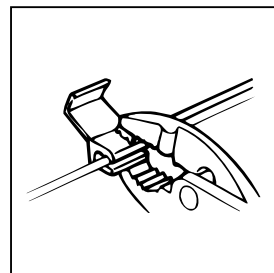
L端子線とはイグニッションONの時1~3V、エンジン駆動中12~14Vになる線です。
(必ずテスターをご使用下さい。)



STEP-2

- 安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

付属の安全センサーケーブルの灰色線を、車室内からエンジンルームに引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に、付属のエレクトロタップで接続します。



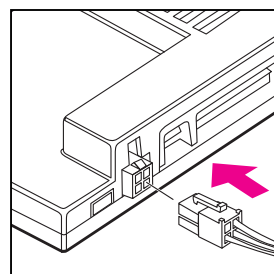
STEP-3

- 安全センサーケーブルを本体に接続します。

OK

以上でL端子検出への変更は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来る事を確認して下さい。



●Pポジション検出へ変更



L端子配線等を行った車両は、安全センサーケーブルが本体に接続されているので、一旦外して下さい。

⚠ 注意

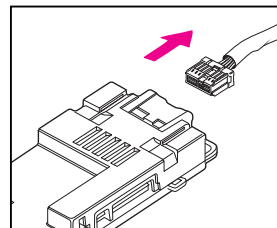
接触不良がおきない様に確実に取り付けて下さい。取付後、絶縁テープでエレクトロタップをテーピングして下さい。

- オートマチック車の登録が出来ない場合、リモコンでエンジン始動後、シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かしてもエンジンが停止しない場合、又数秒で動作を停止し、再始動を行わない場合、Pポジション検出へ変更が必要です。

(動作確認後、必要な場合のみ変更して下さい。)

STEP-1

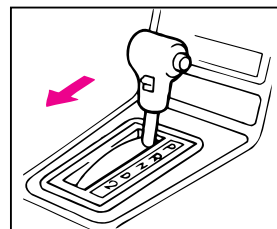
- 専用ハーネスのコネクタを外します。



STEP-2

- 車両のPポジション線を探します。

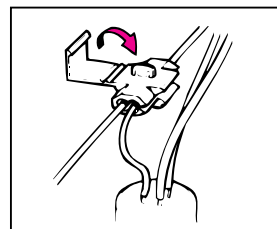
シフトレバーがPレンジの時、約12V(又は0V)、Rレンジの時、約0V(又は12V)になる線を見つけて下さい。(必ずテスターをご使用下さい。)



STEP-3

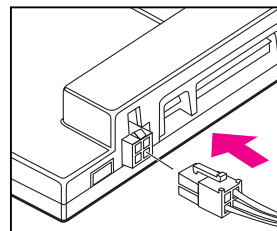
- 安全センサーケーブルの桃色線を接続します。

付属の安全センサーケーブルの桃色線をSTEP-2で見つけた配線に付属のエレクトロタップで接続します。



STEP-4

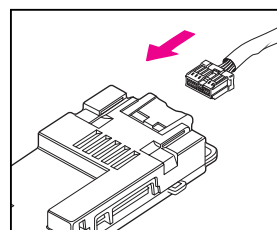
- 安全センサーケーブルを本体に接続します。



STEP-5

- オートマチック車の登録をやり直して下さい。

専用ハーネスを接続し、オートマチック車の登録を行って下さい。オートマチック車の登録後、リモコンでエンジン始動し、シフトをPレンジからRレンジへ動かしてエンジンが停止する事を確認して下さい。



●ドアスイッチ配線を行う場合



端子配線等を行った車両は、安全センサーケーブルが本体に接続されているので、一旦外して下さい。



お車の半ドア警告灯やルームランプを点灯させる為の線です。ドアを開めた時に5V程度となる車種も有ります。

⚠ 注意

ドアを開めた後、ルームランプ点灯の為のドア配線にしばらく電圧が維持する車両があります。そのような車両はドアを開めた後10秒以上待って、エンジンを始動して下さい。



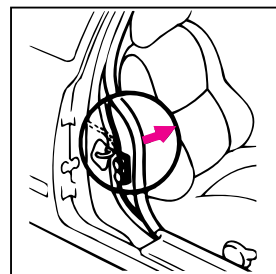
ドアを開けても20秒間アイドリングを継続させたい場合はドアタイマー機能の設定を行って下さい。

●ドアスイッチの配線を行う事により、リモコンでのエンジンアイドリング中に、運転席のドアを開けるとエンジンを停止させる事が出来るようになります。尚、ターボタイマーによるアイドリング中は、停止しません。

STEP-1

●運転席のドアスイッチ配線を探します。

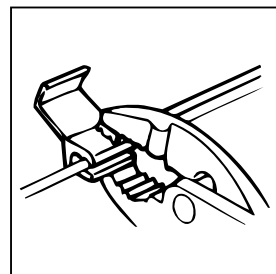
ドアを開けた時は0V、閉めた時に12Vとなる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)



STEP-2

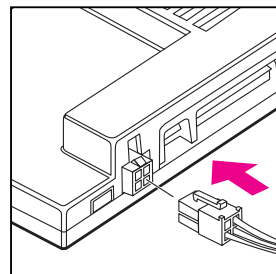
●安全センサーケーブルの茶色線を接続します。

安全センサーケーブルの茶色線は、ボンネットスイッチ配線と共用になっています。ボンネットスイッチを取り付けない場合には、茶色線のギボシ端子を、ニッパ等で切断し付属のエレクトロタップで接続します。



STEP-3

●安全センサーケーブルを本体に接続します。



OK

以上でドアスイッチ配線は終了です。

ドアを閉じた状態で、リモコンでエンジン始動後、ドアを開けてエンジンが停止する事を確認して下さい。

●ボンネットスイッチを取り付ける場合

⚠ 注意

ボンネットスイッチ(別売)とドアスイッチの両方を接続した場合、ボンネットを開けた時もルームランプや、半ドア警告灯が点灯します。整備等で長時間ボンネットを開けたままにされる場合には、ルームランプのスイッチをお切り下さい。

●ボンネットスイッチ(別売)の取り付けを行う事により、ボンネットが開いている時には、リモコンでのエンジン始動が出来なくなり、作業中の安全を確保出来ます。出来るだけボンネットスイッチの取り付け、配線を行って下さい。取り付けに関しては、ボンネットスイッチ付帯の取付説明書をよくお読み下さい。

●ドアタイマー機能の設定

⚠ 注意

設定を行う時はドアを閉めた状態で行ってください。

⚠ 注意

この時、エンジンは始動させないで下さい。

⚠ 注意

10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。

⚠ 注意

30秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。
(本体から“ブーブービー”という警告音がします)



お取り付け時(初期状態)のドアタイマー機能は、「解除」です。



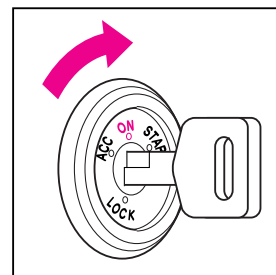
ドアタイマーによりアイドリング継続中は本体のブザーが鳴ります。

●ドアスイッチ配線を行った場合、運転席のドアを開けた後、20秒後にエンジンを停止させる機能です。

(イモビライザー装着車はドアタイマー機能の設定はしないで下さい。この設定をすると、車両のイモビライザー機能が正常に動作しない事により、盗難や事故の恐れがあります。)

STEP-1

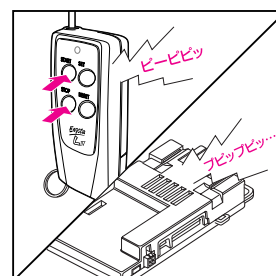
●キーを差し込み**ON**の位置にします。



STEP-2

●上記操作後**10秒以内**にリモコンの**STARTスイッチ**と**STOPスイッチ**を同時に音(ピーピピッ)が鳴るまで押して下さい。

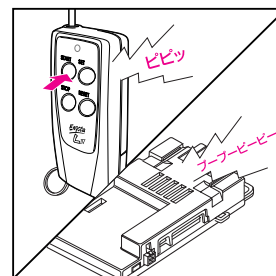
本体から断続音(ブピップピッ…)が鳴ります。



STEP-3

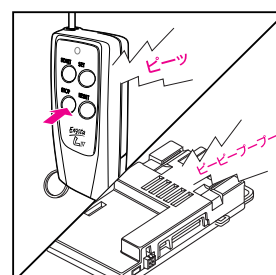
●ドアタイマー機能の設定

STEP-2操作後30秒以内にリモコンの**START**スイッチを音(ビビッ)が鳴るまで押します。本体から受付音(ブーブービービー)が鳴ります。



●ドアタイマー機能の解除

STEP-2操作後30秒以内にリモコンの**STOP**スイッチを音(ピーッ)が鳴るまで押します。本体から受付音(ビービーブーブー)が鳴ります。

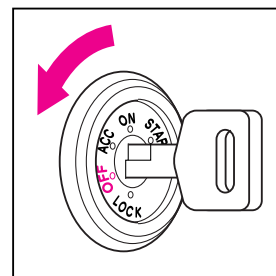


STEP-4

●キーを**OFF**の位置にします。

OK

以上でドアタイマー機能の設定/解除は終了です。



●本体、室内アンテナの固定

⚠ 警告

エアバッグ装着車は、エアバッグカバー部には固定しないで下さい。エアバッグ作動時にケガをする恐れがあります。

⚠ 警告

デフォグガーの噴き出し口付近は高温になりますので設置しないで下さい。

⚠ 警告

室内アンテナを座席寄りに設置しないで下さい。急ブレーキ等により身体が前方に倒れた際、室内アンテナに顔をぶつけてケガをする恐れがあります。

⚠ 警告

配線コードが挟み込まれたりすると、断線やショートの原因となり、本体や車両の故障、さらには車両火災を起こす可能性があります。

⚠ 警告

本体は、直射日光の当たる場所、エアコンの吹き出し口等、高温になる場所や足下の水の跳ね返りや外部からの水の濡れる場所には設置しないで下さい。

⚠ 警告

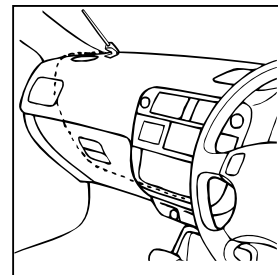
ボンネットを開けて作業をしている際に、誤って始動操作が行われると大変危険です。必ず目立つ場所に貼って下さい。

■室内アンテナの固定

STEP-1

●室内アンテナを取り付けます。

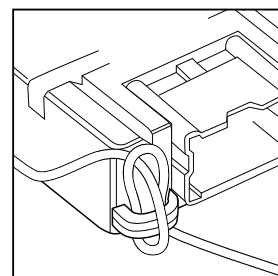
ダッシュボードサイドのピラーから10cm以上離し、出来るだけフロントガラスに近い平らな場所に設置して下さい。この際、アンテナエレメントがフロントガラスと平行になる様に座金の角度を調節します。尚、角度の調節は、アンテナエレメントにストレスをかけないように基台をしっかり押さえて行って下さい。



STEP-2

●本体のアンテナジャックにアンテナ線を差し込みます。

振動等による接触不良や挟み込みによる断線为了避免、アンテナ線を本体の抜け防止ガイドに巻き付けます。最初にアンテナ線抜け防止にアンテナ線を巻き付けます。その後アンテナジャック(アンテナ接続コネクタ)に差し込みます。



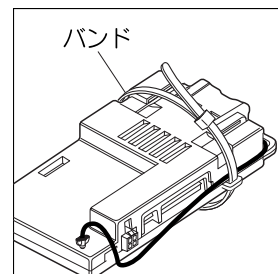
▲ 抜け防止ガイド位置

■本体の取り付け

STEP-1

●本体を取り付けます。

本体及びアンテナ線は、車両の可動部(チルトステアリング、アクセル、ブレーキ、パーキングブレーキ、アクセルリンク等)に支障をきたさぬ場所に設置し、付属の結束バンドで確実に固定して下さい。本体の取り付けが不完全な場合、落下等で運転に支障をきたし、重大な事故につながる恐れがあります。



STEP-2

●外したアンダーカバー等を取り付けます。

■コーションラベルの貼り付け

- エンジンルーム内の目立つ場所に必ず貼って下さい。
貼り付ける際には汚れや油分等をきれいに除去して下さい。

OK

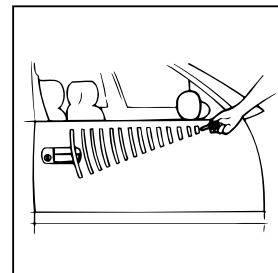
以上で固定は終了です。

●ご使用上の注意

●ほとんどの**純正キーレス(リモコンドアロック)**装着車は、リモコンでエンジン始動中に純正キーレスの操作が出来なくなります。

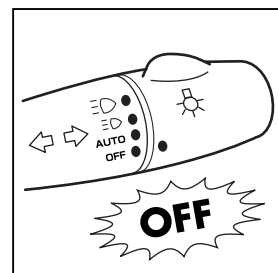
この場合、リモコンでエンジンを停止してから純正キーレスの操作を行うか、キーを使ってドアのロック・アンロックをして下さい。

※別売りのアダプターをお取り付け頂く事で本機のリモコンでドアのロック・アンロックが出来るお車もあります。



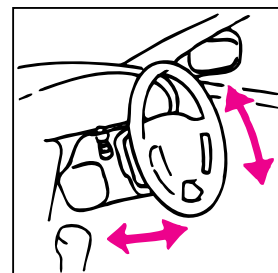
●**純正オートライト**装着車は、お車を駐車する際に、**ライトスイッチをOFF**にしてご利用下さい。

※別売りのアダプターをお取り付け頂く事で「AUTO」ポジションでご利用出来るお車もあります。



●**純正オートチルト**装着車はリモコンでエンジン始動中にキーを差し込んでもオートチルトが作動しません。

この場合、リモコンでエンジンを止めて、キーでエンジンを始動して下さい。



●**純正セキュリティ**装着車について。

標準装備及びメーカーオプションのセキュリティ※装着車は、セキュリティ機能の解除、並びに復帰が出来る場合はお取り付けが可能です。

※トヨタ: オートアラーム、ダイハツ: セキュリティアラーム、ホンダ: カーアラーム、マツダ: パークアラーム等解除、並びに復帰の可否につきましては、カーディーラー等へお問い合わせ下さい。

解除可能な場合は、お客様のご判断で、セキュリティ機能の解除をご依頼下さい。

セキュリティ機能の解除は、ご契約の車両保険によっては盗難割引等に影響する場合がありますのでご契約された保険会社に確認して下さい。

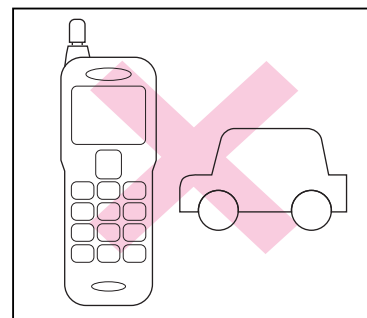
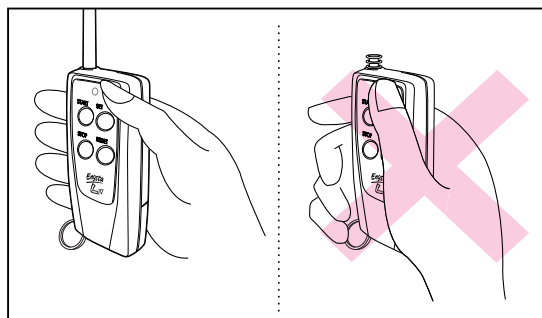
セキュリティ機能の解除後に、万一盗難等の損害が発生しても責任は一切負いかねます。

※トヨタオートアラーム装着車はイモビアダプターの装着によりお取り付け出来るお車も有ります。

※日産純正パーキングサポートシステム(超音波式を除く)装着車は日産純正リモコンスターター両立キット(車種別)を同時装着する事でお取り付けが可能です。

●**リモコン送信**について。

送信時にリモコンを手で覆うと送信距離(電波到達距離)は半減しますので、ご注意下さい。又、通話中の携帯電話やPHSのすぐ側に本体があると、始動距離が短くなる事があります。



●**電波通信距離**について。

電波通信距離は、周囲の環境、室内アンテナの設置状態、リモコンの扱い方等によって変化します。一般的に、TV局や大出力の無線設備、高圧送電線等のノイズ発生源付近では、電波通信距離は短くなります。又、操作(リモコン)場所と車(室内アンテナ)との間に鉄筋コンクリートの建築物がある場合も、電波通信距離は短くなります。

●ご使用方法



リモコンのロッドアンテナを最後まで引き伸ばして下さい。

⚠ 注意

降車時に、下記の事を確認して下さい。

1. パーキングブレーキを確実にかける。
2. シフトレバーはPレンジに入れる。
3. 必要に応じて、エアコン(ヒーター)をセットする。
4. キーを抜く。

●車両によってはPレンジ以外でキーが抜ける場合がありますのでご注意ください。



リモコンによるエンジンのアイドリング中は本体よりアイドリング音(ブツ)が数秒間隔で鳴り続けます。ラジオをONにしていると、本体からの警告音がスピーカーに重畳されることがありますが、異常ではありません。



ドア配線をしている場合ドアを閉めてから10秒以上経過してからリモコンでエンジンを始動して下さい。

⚠ 注意

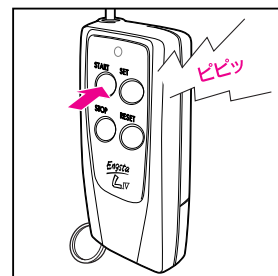
ボンネットスイッチ(別売)とドア配線の両方を併用している時、ボンネットを開けた時もルームランプや半ドア警告灯が点灯します。整備等で長時間ボンネットを開けたままにされる場合には、ルームランプのスイッチをお切り下さい。バッテリー上がり等が発生します。

■リモコンでエンジン始動

STEP-1

●リモコンのSTARTスイッチを押します。

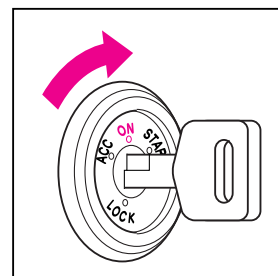
リモコンのロッドアンテナを、最後まで引き伸ばして、STARTスイッチを音(ビピッ)が鳴るまで押します。数秒後、セルモーターが回りエンジンが始動します。一度で始動しない場合は、3回まで自動的に再始動(リトライ)します。又、リモコンによるエンジン駆動中は、本体から警告音(ブツ)が数秒間隔で鳴り続け、使用者にキー以外でのエンジン始動を知らせます。



STEP-2

●走行します。

お車のキーを差し込み、ONの位置まで廻して下さい。後は通常通り走行出来ます。尚、ドアスイッチへの配線を行っている場合、ドアを開けるとエンジンは停止しますので、キーにて再度エンジン始動して下さい。

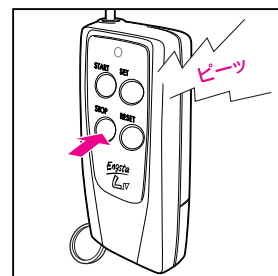


■リモコンでエンジン停止

STEP-1

●リモコンのSTOPスイッチを押します。

STOPスイッチを押すとストップ送信音(ピーツ)が鳴り、ストップ信号を送信します。ストップ信号を送信すると、ただちにエンジンが停止します。

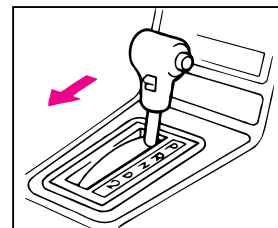


■各種センサーで停止

- ドア配線をしている場合、ドアを開けるとエンジンが停止します。
- ボンネットスイッチを配線している場合、ボンネットを開けるとエンジンが停止します。

■シフトセンサーで停止

- お車のキーを差し込み、ACCの位置にして、フットブレーキをしっかりと踏みながらシフトをゆっくりPレンジからRレンジへと動かすと、エンジンが停止します。



■タイマーで自動停止

- リモコンによるエンジン始動後、約20分(設定により5分/30分変更可能)*でエンジンは自動停止します。

※詳しくは、20ページの「アイドリング時間(5分/20分/30分)の設定」を参照して下さい。

●グロー時間の切替

⚠ 注意

設定を行う時はドアを開めた状態で行ってください。

⚠ 注意

この時、エンジンは始動させないで下さい。



10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。

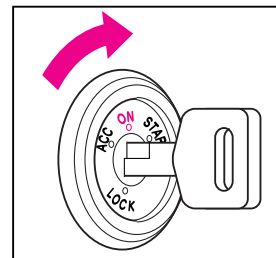


お取り付け時(初期状態)の始動パターンは、「ガソリン車/グローの短いディーゼル車」です。

●一部のディーゼル車等で、グロー(予熱時間)が必要な場合、又はガソリン車でセルモーターの駆動前にIG投入時間が必要な場合、以下の操作をする事により時間を延長する事が出来ます。

STEP-1

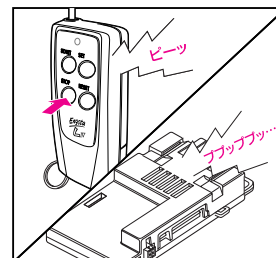
●キーを差し込み**ON**の位置にします。



STEP-2

●上記操作後**10秒以内**にリモコンの**STOPスイッチ**を音(ピーッ)が鳴るまで押します。

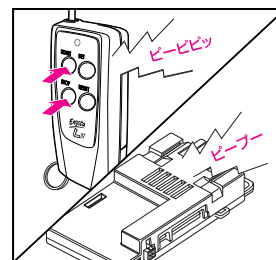
本体から断続音(ププププッ…)が鳴ります。



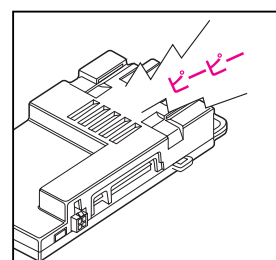
STEP-3

●上記操作後30秒以内に次の操作を行います。

(1)「ディーゼル車(グロー6秒程度)」に設定する場合。
リモコンのSTARTスイッチとSTOPスイッチを同時に音(ピービビッ)が鳴るまで押します。本体から受付音(ピープー)が鳴ります。



(2)「ガソリン車/グローの短いディーゼル車」に設定する場合。
30秒間そのまま放置します。
本体より(ピーピー)音がします。

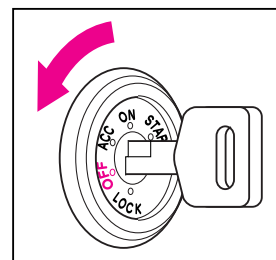


STEP-4

●キーを**OFF**の位置にします。

OK

以上でグロー時間の切替は終了です。



●キー始動学習機能

⚠ 注意

設定を行う時はドアを閉めた状態で行って下さい。

⚠ 注意

この時、エンジンは始動させないで下さい。

⚠ 注意

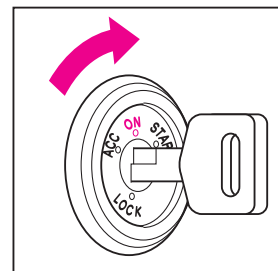
10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。一旦、キーをOFFの位置に戻し、STEP-1からやり直して下さい。

⚠ 注意

30秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。(本体から“ピーピー”という警告音がします。)
この時グロー時間の切替で「ガソリン車/グローの短いディーゼル車」に設定されます。
また、セルモーター駆動後も受付音(ブブブブー)がせず、断続音(ブブブブッ…)が継続されている場合には、一旦、キーをOFFの位置に戻し、STEP-1からやり直して下さい。

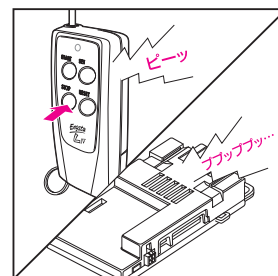
●キー始動学習機能を行う事により、リモコン始動時のセルモーター駆動時間の学習登録を行う事が出来ます。

STEP-1 ●キーをONの位置にします。



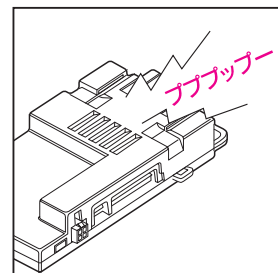
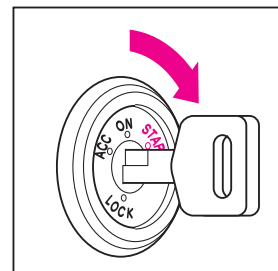
STEP-2 ●上記操作後10秒以内にリモコンのSTOPスイッチを音(ピーツ)が鳴るまで押します。

本体から断続音(ブブブブッ…)が鳴ります。

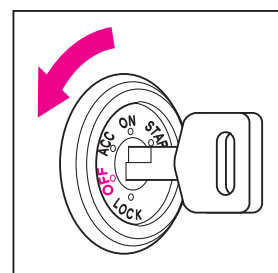


STEP-3 ●上記操作後30秒以内にキー操作でエンジンを始動します。

本体から受付音(ブブブブー)がしてキー始動学習が行われた事を知らせます。セルモーターの駆動時間は「0.8～3.0秒」の範囲で学習され、リモコン始動時、1回目のセル駆動時間に登録されます。(2回目、3回目も通常通り延長されます)よって、通常使用時と同一環境下で学習を行うと効果的です。



STEP-4 ●キーをOFFの位置にします。



OK

以上でキー始動学習機能は終了です。

●アイドリング時間の設定(5分/20分/30分)

⚠ 注意

設定を行う時はドアを閉めた状態で行って下さい。

⚠ 注意

この時、エンジンは始動させないで下さい。

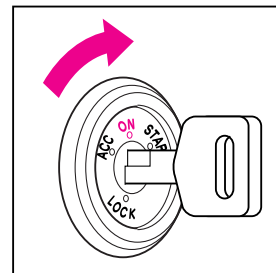


10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。



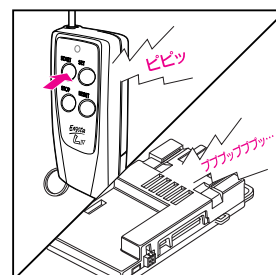
お取り付け時(初期状態)のアイドリング時間は、「20分」です。

STEP-1 ●キーを差し込み**ON**の位置にします。



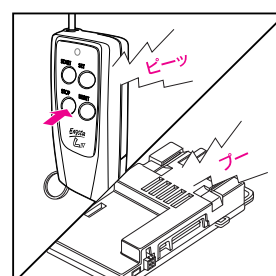
STEP-2 ●上記操作後**10秒以内**にリモコンの**STARTスイッチ**を音(ピピッ)が鳴るまで押します。

本体から断続音(プププププッ…)が鳴ります。

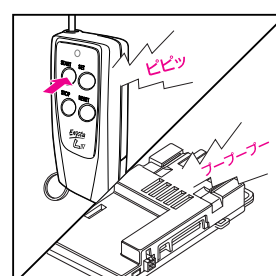


STEP-3 ●上記操作後**30秒以内**に次の操作を行います。

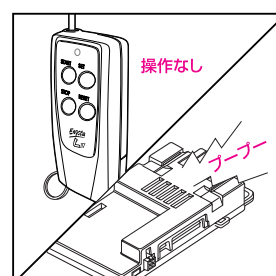
(1)「**5分**」に設定する場合。
リモコンの**STOPスイッチ**を音(ピーッ)が鳴るまで押します。
本体から受付音(プー)が鳴ります。



(2)「**30分**」に設定する場合。
リモコンの**STARTスイッチ**を音(ビピッ)が鳴るまで押します。
本体から受付音(プープー)が鳴ります。



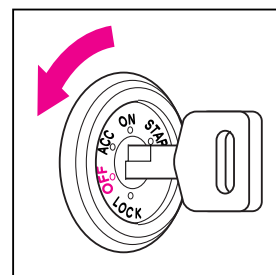
(3)「**20分**」に設定する場合。
30秒間本体から受付音(プープー)が鳴るまで待ちます。



STEP-4 ●キーを**OFF**の位置にします。

OK

以上でアイドリング時間の設定は終了です。



●本体動作の停止・復帰

⚠ 注意

「本体動作の停止」を行うと
「本体動作の復帰」を行うまで
全ての動作が停止します。

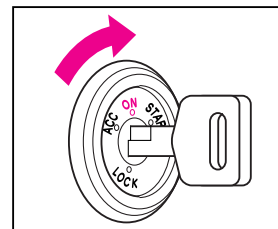


車検等で車を整備工場にお預けになる場合や、お取り扱いの判らない方が運転される場合に、ご使用下さい。

■本体動作の停止

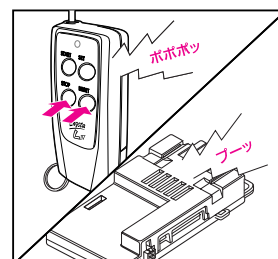
●リモコン操作により、本体の全ての機能を停止させる事が出来ます。

STEP-1 ●キーを差し込み**ON**の位置にします。

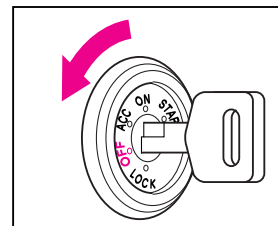


STEP-2 ●上記操作後**10秒以内にリモコンのSTOPスイッチとRESETスイッチを同時に、音(ポポポッ)が鳴るまで約5秒間押し続けます。**

本体から反応音(ブーツ)が鳴り、本体の全ての機能が停止します。



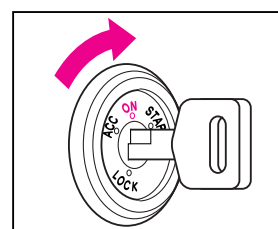
STEP-3 ●キーを**OFF**の位置にします。



■本体動作の復帰

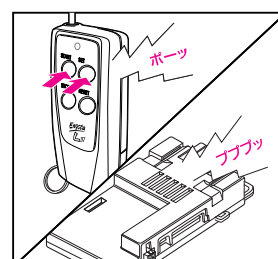
●リモコン操作により、本体全ての機能を復帰させる事が出来ます。

STEP-1 ●キーを差し込み**ON**の位置にします。

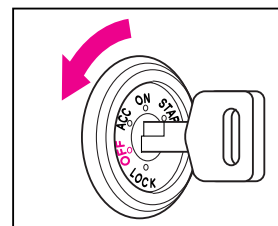


STEP-2 ●上記操作後**10秒以内にリモコンのSTARTスイッチとSETスイッチを同時に、音(ポーッ)が鳴るまで約5秒間押し続けます。**

本体から反応音(プププッ)が鳴り、本体の全ての機能が復帰します。



STEP-3 ●キーを**OFF**の位置にします。



●ターボタイマーの設定・解除

⚠ 注意

この時、エンジンは始動させないで下さい。

⚠ 注意

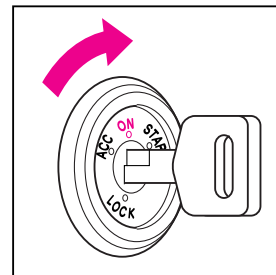
30秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。(本体から“ピーピー”という警告音がします。)
この時グロー時間の切替で「ガソリン車/グロー時間の短いディーゼル車」の設定になります。



お取り付け時のターボタイマーは、「解除状態」です。

STEP-1

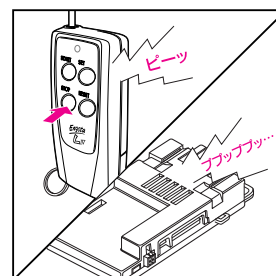
●キーを差し込み**ON**の位置にします。



STEP-2

●上記操作後**10秒以内**にリモコンの**STOPスイッチ**を音(**ピーツ**)が鳴るまで押します。

本体から断続音(**ブブブブツ...**)が鳴ります。



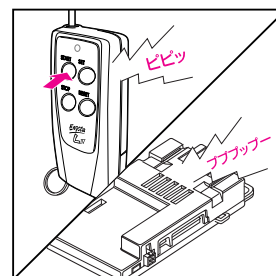
STEP-3

●上記操作後**30秒以内**に次の操作を行います。

(1)ターボタイマーを**設定**する場合。

リモコンの**STARTスイッチ**を音(**ビピツ**)が鳴るまで押します。

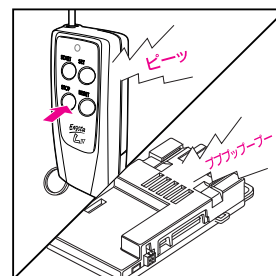
本体から受付音(**ブブブブー**)が鳴り、ターボタイマーが設定されます。



(2)ターボタイマー設定を**解除**する場合。

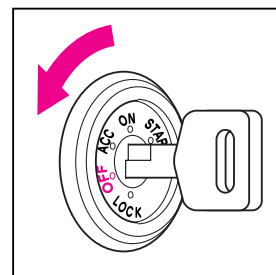
リモコンの**STOPスイッチ**を音(**ピーツ**)が鳴るまで押します。

本体から受付音(**ブブブブーブー**)が鳴り、ターボタイマーの設定が解除されます。



STEP-4

●キーを**OFF**の位置にします。



OK

以上でターボタイマーの設定/解除は終了です。

●ターボタイマーの使用法

⚠ 注意

必ず安全な状態で車を駐車して下さい。



車両によってはターボタイマー作動中にキーが抜けな
い場合があります。この場
合は別売の「キーロックア
ダプター」をご使用下さい。
キーロックアダプターを使
用すると、Pレンジ以外でも、
キーが抜ける場合がありま
す。必ず、Pレンジを確認し
てからキーを抜いて下さい。



車両によってはターボタイ
マー動作開始時にエンジン
ストール(エンジン停止)し
たり、メーターパネルの警
告灯が一瞬点灯する事が有
ります。この場合は、別売の
「ターボタイマーストール
防止アダプター」をご使用
下さい。



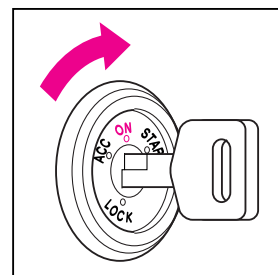
ターボタイマー時間は、
0.5～5分の範囲で自動的
に設定されます。

走行 時間(分)	ターボタイマー 時間(分)
0～0.5	0
0.5～30	0.5～2
30～60	2～3
60～120	3～4
120～	4～5

- ターボタイマーは、フルオート方式を採用しています。(お車の走行状況に合わせて自動的にアフターアイドリングの時間が設定されます)又、エンジン始動後30秒未満は、ターボタイマーが働きません。

STEP-1

- キー、又はリモコンでエンジンを始動させます。



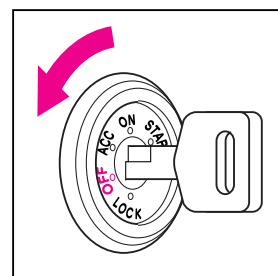
STEP-2

- 走行します。

STEP-3

- 走行終了後、キーをOFFの位置にします。

本体からカウントダウン音(ブツ)が鳴り始め、ターボタイマーの作動中を知らせます。



■ターボタイマー停止

- ターボタイマー作動中にリモコンのSTOPスイッチを押す事により、エンジンを停止させる事が出来ます。
- シフトをPレンジからRレンジに動かす事によりエンジンを停止させる事が出来ます。

●スリープ機能について



スリープ機能動作中はリモコンによるエンジンの始動は出来ません。

- 車を使用しない状態が15日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
- スリープ機能を解除する時は、キーを使ってエンジンを始動させて下さい。

●メンテナンス

⚠ 注意

お買い上げの製品にセットされている電池は検査時に機能や性能をチェックするモニター電池の為、短期間の使用で寿命となる事があります。

⚠ 注意

電池交換の際は、2個とも新品の電池(アルカリボタン電池LR44)に交換して下さい。

⚠ 注意

電池の+、-の向きに注意します。



電池交換後は送信テストを行いましょう。

⚠ 注意

専用ハーネスをはずしたり、整備の際にお車のバッテリーを交換した場合、再度オートマチック車の登録(その他設定)からやり直す必要があります。



IDコード設定の為に、本体をお送り頂く必要はありません。

⚠ 注意

元のリモコンは使用出来なくなります。

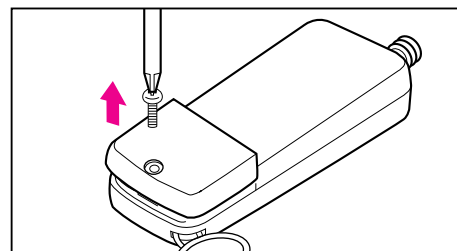
■電池の交換方法

- 本商品は、新品の電池で約3,000回以上(通常の使用で2年程度)使用出来るように設計されております。使用中、電波到達距離が短くなったり、送信のブザー音が途中で止まる場合は電池を交換して下さい。

STEP-1

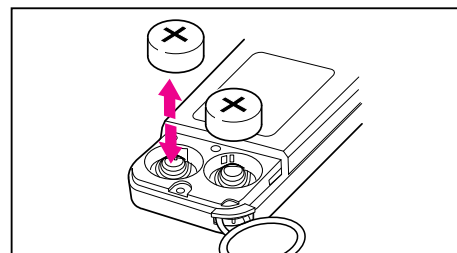
●電池蓋を外します。

プラスドライバーでネジを外して電池蓋を開けます。防滴用のパッキンは外さないようにして下さい。



STEP-2

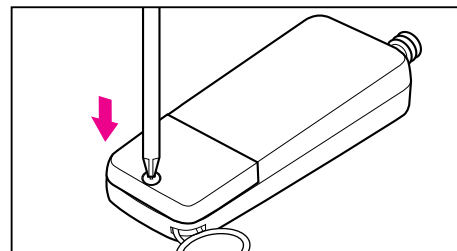
●電池(LR44)を交換します。



STEP-3

●電池蓋を閉じます。

外した時と逆の要領で電池蓋を閉じます。防滴用パッキンは電池蓋からはみ出さないようにして下さい。



■点検・車検・長期間使用しない時は

- お車を車検整備に出す時や、旅行等により長期間使用しない場合は安全の為、本体動作の停止(本冊子21ページ参照)を行って下さい。

■リモコンを紛失した時は

- リモコンを紛失又は破損(修理不可能の場合)した場合は、リモコンのみの購入が出来ます。

この場合、新しいリモコンのIDコードを本体に登録する必要があります。詳しくは、リモコン付帯の説明書をご覧ください。

(リモコンは、販売店又は取扱店へご注文下さい。希望小売価格(税込)10,290円)

●故障とお考えになる前に

このような時	チェックして下さい	処 置
・リモコンのスタートスイッチを押しても音が鳴らない。	・スイッチを押す時間が短くありませんか？ ・リモコンの電池は消耗していませんか？	・0.5秒以上スイッチを押して下さい。 ・電池を新品に交換して下さい。
・本体から「ブーブー、ブーブー…」音が鳴っていて、リモコンのスタートボタンを押しても、まったく作動しない、又は本体から音がせず、リモコンの送信を行うと、本体から「ブーブー、ブーブー…」音が鳴り出す。	・バッテリー端子を外したり、バッテリー交換を行いましたか？ ・ヒューズ交換、専用ハーネスとのカブラー脱着及び黒色アース線の再接続を行いましたか？ ・オートマチック車の登録は行いましたか？	・オートマチック車の登録情報が消去されています。再度「オートマチック車の登録」を行って下さい。 ・オートマチック車の登録情報が消去されています。再度「オートマチック車の登録」を行って下さい。 ・本体から音がしない場合、リモコンのSTOPボタンを押して、STOP送信を行って下さい。
・オートマチック車の登録は行ったが、リモコンのスタートスイッチを押してもまったく作動しない。	・「本体動作の停止」の設定をされていませんか？ ・音(ビピッ)がするまでスタートスイッチを押していますか？ ・お車のキーがONになっていませんか？ ・リモコンのアンテナを伸ばしていますか？ ・室内アンテナのアンテナプラグが外れていませんか？ ・リモコンの電池は消耗していませんか？ ・車両のバッテリー端子が外れていませんか？ ・15日以上エンジンの始動を行わない状態でしたか？ ・お車のバッテリーは弱っていませんか？ ・運転席のドアスイッチへの配線(任意)を行って、ドアを開いていませんか？ ・ボンネットスイッチ(オプション)の配線を行ってボンネットを開いていませんか？ ・ドアスイッチへの配線(任意)が間違っていないですか？ ・Pポジションの配線を行いお車のシフトレバーがPレンジ以外に入っていないですか？	・「本体動作の復帰」の設定を行って下さい。 ・音(ビピッ)がするまで押して下さい。 ・キーを抜いて下さい。 ・アンテナを伸ばして下さい。 ・アンテナプラグを差し込んで下さい。 ・電池を新品に交換して下さい。 ・端子を接続し「オートマチック車の登録」を行って下さい。 ・スリープモードになっています。キー操作でエンジンを始動させて下さい。 ・お車のバッテリーを充電又は交換して下さい。 ・ドアを閉めて下さい。 ・ボンネットを閉めて下さい。 ・正しく配線して下さい。 ・シフトレバーをPレンジに入れて下さい。
・リモコンのスタートスイッチを押すとメーターパネルは点灯するが始動しない。	・お車のシフトレバーがPレンジに入っていますか？ ・お車のバッテリーは弱っていませんか？ ・専用ハーネスの品番は正しいですか？	・シフトレバーをPレンジに入れて下さい。 ・お車のバッテリーを充電又は交換して下さい。 ・車種別専用ハーネス適応表を再度確認して下さい。
・リモコンのスタートスイッチを押してもエンジンは始動せず、再始動(リトライ)を行う。	・オルタネーター(L端子)配線を行いましたか？ ・お車のバッテリーは弱っていませんか？ ・セルモーターの駆動時間が短くありませんか？	・オルタネーター(L端子)配線を行って下さい。 ・お車のバッテリーを充電又は交換して下さい。 ・「キー始動学習」を行ってセルモーターの駆動時間を延長させて下さい。
・リモコンのスタートスイッチを押すと、一旦エンジンは始動するが、10秒位で停止してしまい、再始動(リトライ)を行う。	・オルタネーター(L端子)配線を行っていますか？	・オルタネーター(L端子)配線を行って下さい。
・本体の電源が入らない。	・専用ハーネスのヒューズが切れていませんか？ ・専用ハーネスのカブラが外れていませんか？ ・専用ハーネスの黒線(アース線)が外れていませんか？	・ヒューズを交換して下さい。 ・カブラーを確実に差し込んで下さい。 ・黒線(アース線)を確実に接続して下さい。
・始動距離が短くなった。	・リモコンの電池は消耗していませんか？ ・リモコンのアンテナに体の一部が触れていませんか？ ・リモコンのアンテナを伸ばしていますか？ ・室内アンテナのアンテナプラグが本体から外れていませんか？ ・周囲の環境は変化していませんか？	・電池を新品に交換して下さい。 ・送信の際はアンテナに触れないようにして下さい。 ・アンテナを伸ばして下さい。 ・アンテナプラグを差し込んで下さい。 ・16ページの「電波到達距離について」を参照して下さい。
・ターボタイマーが作動しない。	・ターボタイマーの設定を行っていますか？ ・エンジンを30秒以上始動させましたか？ ・お車のシフトレバーがPレンジに入っていますか？	・ターボタイマーの設定をして下さい。 ・30秒以上始動して下さい。 ・シフトレバーをPレンジに入れて下さい。
・リモコンのスタートスイッチを押してもエンジンが始動せず、警告音「ピー…、ピー…」が鳴り続ける。	・シフトレバーがPレンジに入っていますか？ ・お車のキーがACCになっていませんか？ ・専用ハーネスの品番は正しいですか？	・シフトレバーをPレンジに入れて下さい。 ・キーをOFFの位置にして抜いて下さい。 ・車種別専用ハーネス適応表(別冊)を再度確認して下さい。お車の車種名・年式・型式をハーネス適応表に照合後、品番が正しい場合は技術サービスまでお問い合わせ下さい。 ※警告音はキーをONにすれば停止します。

●本体ブザー音一覧表

(オートマチック車登録や各種機能設定時の反応音を除く)

ブザー音	本体のブザーから鳴る場合
ププッ (プププッ)	●リモコンでエンジンが始動した場合。
プッ〜プー	●リモコンでエンジン駆動中。 リモコン始動直後から5秒間隔 (アイドリング20分モード時) で鳴り始め、残り時間に連動して徐々に短くなります。自動停止 (1分前) 連続音になります。
プッ〜プー	●ターボタイマーでエンジン駆動中。 ターボタイマー作動直後から1秒間隔で鳴り始め、残り時間に連動して徐々に短くなります。自動停止 (1秒前) 連続音になります。
プププッ	●スリープから復帰した場合。
ピーッ	●ドア開、ボンネット開放の安全対策によりエンジン始動が出来ない場合。
ピーピーッ	●リモコンでエンジンが始動しない場合。
ピーピーピーッ	●リモコンでエンジン始動中にエンストした場合。
ピーピーピーピーッ	●リモコンでエンジン始動時にバッテリー電圧が低い場合。
ピー…ピー…	●車両との相性が悪い (悪くなった) 場合。 リモコンのスタートスイッチを押すとメーターが一瞬点灯し、その後消灯して、エンスタの動作が停止し (エンジンは始動せず) 警告音が鳴り続ける。 ※技術サービスへお問い合わせ下さい。※警告音はキーをONにすれば停止します。

●別売りアダプター

※適応及び詳細は、最新の弊社「車種別専用ハーネス適応表」をご参照下さい。

品 番	品 名	機能概要	希望小売価格 (税込)
C204	ドアロック汎用キット (マイナス制御)	本機のリモコンでドアロック・アンロック (アクチュエーター搭載車限定) の制御を行うドアロック汎用キット及び、ドアロック車種別専用ハーネスです。又、本キットは「ハザード点滅キット」との併用も可能です。	¥3,990 <税抜価格 ¥3,800>
EDXXX	ドアロック車種別専用ハーネス		¥7,140~ <税抜価格 ¥6,800~>
KES-06	専用キーレスアダプター	本機のリモコンでドアロック・アンロック (アクチュエーター搭載車限定) の制御を行うアダプターです。尚、本アダプターと「ハザード点滅キット」との併用は出来ません。	¥6,300 <税抜価格 ¥6,000>
1262	ハザード点滅キット (汎用)	ドアロック汎用キット (C204) 及び、ドアロック車種別専用ハーネス (EDXXX) と併用するハザード点滅キット (汎用) です。併用すると、ドアロックの操作に連動して、ハザードが点滅 (ロック1回・アンロック2回) 致します。	¥8,190 <税抜価格 ¥7,800>
1263	電子音+ハザード点滅キット (汎用)	ドアロック汎用キット (C204) 及び、ドアロック車種別専用ハーネス (EDXXX) と併用する電子音+ハザード点滅キット (汎用) です。併用すると、ドアロックの操作に連動して、電子音の吹鳴とハザードが点滅 (ロック1回・アンロック2回) 致します。	¥9,240 <税抜価格 ¥8,800>
C207	ボンネットスイッチ	ボンネット開閉検出用スイッチです。ボンネットを開けている時は、リモコン始動を受け付けません。エンジンルームの整備作業を行っている時にエンジンが始動してしまうと、重大事故が発生する恐れがあります。標準装備の安全機能 (シフト位置検出、ドアオープン検出) に加えて、より高い安全性を確保する為にご使用をお勧めします。	¥2,940 <税抜価格 ¥2,800>
C208	オートライトアダプター	リモコン始動時に純正オートライトで点灯したライトをエンジン停止時に消灯させるアダプターです。適応は夜間 (暗い場所) にキーでエンジン始動した際、自動的にライトが点灯 (ライトスイッチがAUTOの場合) し、エンジン停止後、運転席のドアを開けた時に消灯するお車となります。(一部車種を除く) 尚、エンジン停止時にライトが消灯するお車には不要です。	¥2,940 <税抜価格 ¥2,800>
C307 C308	イモビアダプター	純正イモビライザー装着車のイモビライザー機能を損なわずに、リモコンエンジンスタートのエンジン始動を有効にするアダプターです。 △ お取り付けには純正イモビライザー解除可能なスベアキーが必要です。 △ ご契約の車両保険によっては盗難割引等に影響する場合がありますので、ご契約された保険会社に必ず確認して下さい。 △ 本アダプター取付後に万一盗難等の損害が発生しても責任は一切負いかねますのでご了承下さい。	¥6,090 <税抜価格 ¥5,800>
IM01 IM41	イモビアダプター	純正イモビライザー装着車のイモビライザー機能を損なわずに、リモコンエンジンスタートのエンジン始動を有効にするアダプターです。 △ ご契約の車両保険によっては盗難割引等に影響する場合がありますので、ご契約された保険会社に必ず確認して下さい。 △ 本アダプター取付後に万一盗難等の損害が発生しても責任は一切負いかねますのでご了承下さい。	¥10,290 <税抜価格 ¥9,800>
H241	ホンダレジェンド用 DPSアダプター	リモコン始動時にDPS (ドライビングポジションシステム) のチルトステアリングのAUTO表示灯が点灯したままになる事を回避するアダプターです。	¥3,990 <税抜価格 ¥3,800>

仕様

●リモコン

■型式名	0026T
■適合規格	ARIB STD-T67 特定小電力無線局 テレメータ・テレコントロール・データ 伝送用無線設備
■通信方式	単向通信方式
■電波形式	F1D
■送信周波数	426.075MHz
■空中線電力	1mW以下
■電波方式	FSK変調 1200bps
■周波数偏差	±4ppm以下
■周波数偏移	±2.5KHz以内
■送信時間	約1秒
■送信休止時間	2秒以上
■制御コード	アドレスコード32ビット/ コントロールコード8ビット
■スイッチ	スタート/ストップ/セット/リセット
■アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
■動作温度範囲	-20°C~+60°C
■定格電圧	DC3V
■電池	アルカリボタン電池 LR44×2個
■電池寿命	電池交換なしで3000回以上使用可能
■外觀寸法	65mm(H)×30.5mm(W)×12.9mm(D) (突起部除く)
■重量	26g(電池を含む)

●本体

■型式名	0026R
■受信周波数	426.075MHz
■局発安定度	±4ppm以下
■復調コード	アドレスコード32ビット/ コントロールコード8ビット
■アンテナ	1/4λ室内アンテナ
■動作温度範囲	-20°C~+70°C
■電源電圧	最低動作電圧DC8.5V 最高動作電圧DC16V
■パワー系制御電流	突入電流80A 最大電流20A
■消費電力	通常待機時平均7mA以下
■始動検出	専用ハーネス(自動) オルタネーターL端子(選択) パーキングポジション(自動)
■安全対策	ドア開放(任意)、ボンネット開放(任意)
■タイマー	20分後自動停止(設定により5分/30分変更可能)
■外觀寸法	26.5mm(H)×110mm(W)×70mm(D) (突起部除く)
■重量	140g

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する事があります。

〈保証規定〉

本商品は、厳重な品質管理のもとに製造され、検査に合格し、出荷されておりますが、お客様の正常な状態でのご使用中、万一故障が発生した場合には、本保証書の記載内容に基づき、無償修理をさせていただきます。

●修理は、お買い求め頂いた販売店に、本保証書および不具合内容等を記入したメモ等を添えてご依頼願います。

又、修理の際は必ずリモコンと室内アンテナと本体をセットでお渡し下さい。(リモコンのみでは修理出来ません)

●この保証書は日本国内に於いてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

●本保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

尚、下記に該当する場合は、保証期間内であっても保証の対象とはなりませんのでご注意下さい。

- 1.お客様の故意又は過失による故障と認められた場合。
- 2.商品を分解したり改造したりした形跡が認められた場合。
- 3.火災、天災、事故、その他紛争等による損傷。
- 4.適応外車両へのお取り付けや当社専用ハーネスをお使いになっていない場合。
- 5.取付・取扱説明書中の注意事項を守れなかった事により発生した故障、損害等。
- 6.保証書の添付がないか、あるいは記載事項に不足がある場合。

●消耗部品(電池、アンテナ等)やリモコンのケース破損は保証対象外です。

●修理によって生じた交換部品は原則としてお返し致しません。

●本商品の製造終了3年以降は使用電子部品の製造中止等により修理不能になる場合がありますので予めご了承下さい。

※保証期間経過後の修理については、お買い求め頂いた販売店又は当社までご相談下さい。

修理によって機能の維持が可能な場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

●アフターサービスについて

- 使用中に正常に動作しなくなった時は、まず本文の「故障とお考えになる前に」を参考にしてチェックして下さい。「処置」を行っても改善が見られない時は、お買い上げ店を経由して当社技術サービスにお申し付け下さい。
- 本商品を修理依頼される場合は、
①保証書 ②本体 ③リモコン ④故障内容・状況を明記したメモの4点をセットにして、お買い上げ店へ直接ご持参下さい。
- 保証期間を過ぎた場合は、住所・氏名・電話番号を明記し、上記とセットでお買い上げ店へ直接ご持参下さい。尚、この場合は有償修理となります。

●製造/発売元

株式会社 ミツバサンコーワ